

# 令和7年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

自然環境課

## 1 施設の概要等

施設名	野呂山公園施設		
所在地	呉市川尻町板休		
設置目的	すぐれた風景地である自然公園の利用の増進を図り、もって県民の保健、休養及び教化に資する。		
施設・設備	オートキャンプ場、公衆便所、休憩所、展望台、歩道、車道、駐車場施設等		
指定管理者	5期目	R6.4.1～R11.3.31	(一財)野呂山観光開発公社
	4期目	H31.4.1～R6.3.31	(一財)野呂山観光開発公社
	3期目	H26.4.1～H31.3.31	(一財)野呂山観光開発公社
	2期目	H21.4.1～H26.3.31	(一財)野呂山観光開発公社
	1期目	H18.4.1～H21.3.31	(財)野呂山観光開発公社

## 2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
	5期	R7	5,500人	4,259人	△209人
R6		5,500人	4,468人	△753人	△1,032人(81.2%)
増減理由	4期平均 R1～R5	5,200人	5,221人	△134人	21人(100.4%)
	3期平均 H26～H30	5,424人	5,355人	340人	△69人(98.7%)
	2期平均 H21～H25	4,110人	5,015人	1,863人	905人(122.0%)
	1期平均 H18～H20	—	3,152人	528人	—
	H17 (導入前)	—	2,624人	—	—
小中学校による課外活動の誘致に更なる力を入れた結果、令和6年度の歴代最多21校を上回る30校の誘致に成功した。しかし、酷暑が長引いたことで秋の利用が増えず、目標を達成できなかった。					

## 3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	ヒアリング実施	キャンプ場利用者 104件
	【主な意見】	【その対応状況】
	レンタル設備やスタッフによるサポートが充実しており、キャンプを楽しめた。	引き続き、利用者からのニーズにきめ細かく対応していく。

## 4 県の業務点検等の状況

項目	実績	備考
報告書	年度	○ 事業報告書
	月報	○ 月次業務実績報告書
	日報 (必要随時)	— —
野呂山運営協議会 (2回・現地)	【特記事項等】 施設の維持、老朽化対策	
現地調査 (1月)	【指定管理者の意見】 利用者を増やすためには、古くなった施設の整備が必要である。  【県の対応】 指定管理者と連携して、計画的に修繕を実施する。	

## 5 県委託料の状況

(単位：千円)

年度	金額		対前年度増減		年度	金額		対前年度増減	
	5期	R7	5,336	33		5期	R7	3,294	△485
	R6	5,303	319		R6	3,779	△692		
4期平均	R1~R5	4,984	923	4期平均	R1~R5	4,471	1,175		
3期平均	H26~H30	4,061	113	3期平均	H26~H30	3,296	532		
2期平均	H21~H25	3,948	0	2期平均	H21~H25	2,764	1,310		
1期平均	H18~H20	3,948	△364	1期平均	H18~H20	1,454	103		
H17(導入前)		4,312	—	H17(導入前)		1,351	—		

## 6 管理経費の状況

(単位：千円)

項目		R7 決算額	R6 決算額	前年度差	主な増減理由等
収入	県委託料	5,336	5,303	33	
	料金収入(※1)	3,294	3,779	△485	キャンプ場宿泊利用者の減
	その他収入	44	41	3	
	計(A)	8,674	9,123	△449	
支出	人件費	7,203	6,877	326	最低賃金上昇による増
	光熱水費	1,344	1,599	△255	キャンプ場利用者の減
	設備等保守点検費	614	1,030	△416	トイレ汲み取り料の減
	清掃・警備費等	336	401	△65	
	施設維持修繕費	834	710	124	要修繕箇所の増
	事務局費	35	33	2	
	その他	782	676	106	保険料、手数料等の増
	計(B)	11,148	11,326	△178	
収支①(A-B)		△2,474	△2,203	△271	
自主事業(※2)	収入(C)	—	—	—	
	支出(D)	—	—	—	
	収支②(C-D)	—	—	—	
合計収支(①+②)		△2,474	△2,203	△271	

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業。

## 7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画、主な取組、新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	キャンプ初心者にとってのキャンプへの障壁をなくすための「手ぶらでキャンププラン」の販売や小中学校における野外活動を積極的に実施するなど、施設の設置目的に沿った運営を行った。	過去の実績等から新たなターゲット層を見極め、施設の利用促進を図るためのイベントを企画し、実施している。
	○業務の実施による、県民サービスの向上	キャンプに関する知識を職員全体で向上させることで、様々な要望に対応できるようにした。また、代金の決済を迅速かつ的確に行えるように、職員間の情報共有を徹底した。	利用者ニーズや課題を把握し、サービス向上に努めている。
	○業務の実施による、施設の利用促進	施設の利用案内やイベントチラシを呉市の公共施設や周辺の小中学校に配付することで、新規利用者やリピーターの獲得に繋がった。	近隣へ向けた情報発信の強化により、施設の利用促進に努めている。
	○施設の維持管理	定期的に施設内を巡回することで清掃管理や危険な箇所の把握を徹底した。さらに、要修繕箇所については優先度に応じて適宜、県と連携して対応した。	清掃や草刈りを適切に実施し快適な施設環境の維持に努めている。また、修繕が必要となった施設については県と連携し計画的な修繕を行っている。
管理の人的物的基礎	○組織体制の見直し	利用者ニーズに対し臨機応変に対応するためにキャンプ場に職員を常駐させることを継続した。	利用者の満足度向上のための人員配置を行っている。
	○効率的な業務運営	イベントやプランに関する情報及び緊急時の対応について周辺施設（野呂高原ロッジ）と共有し連携することで、一体的な管理運営を行った。	野呂山公園施設全体の運営事業者が一者である強みを生かして、施設の円滑かつ柔軟な管理運営に努めている。
	○収支の適正	野外活動を多く受け入れたことで人件費がかかり、キャンプ場は赤字となった。	キャンプ場部門についても黒字になるように、キャンプ場利用者を増やす必要がある。
総括		学校利用については、令和6年度は過去最多の21校を記録したが、令和7年度はそれを大幅に上回る30校の誘致に成功した。一般利用を含め、令和8年度も更なる利用者数増に努める。	利用者の満足度向上に努めた結果、令和6年度に増して団体利用者を獲得できた点を評価できる。引き続き施設の利用促進に取り組むとともに、キャンプ場についても収支が黒字となるよう、運営等を改善する必要がある。

## 8 今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (令和8年度)	一般利用のキャンプについては、リピーター利用の割合が増えていることから、キャンプ場担当以外の職員に対して知識向上の取組を進めるほか、引き続き、新規キャンプ利用者の獲得に向けた情報発信を進めていく必要がある。	引き続き利用者ニーズの変化に注視しながら利用者の満足度を向上させて、施設の利用促進に努めるとともに、必要な環境や組織体制の整備に努める必要がある。
中期的な対応	キャンプ場スタッフは接客に加え施設の維持管理業務も担っているため、現在の人員では人出が足りない時期がある。周辺施設と連携し柔軟に業務を分担することで、業務を効率化しつつ年間を通して質の高いサービスを安定的に提供できるように努める。	同事業者が管理する周辺施設と連携し、業務の効率化を図る必要がある。引き続き指定管理者との協議を進めながら、必要な支援を行うとともに、呉市と連携しつつ、今後の方針を固め対応する。